

LESSON

5

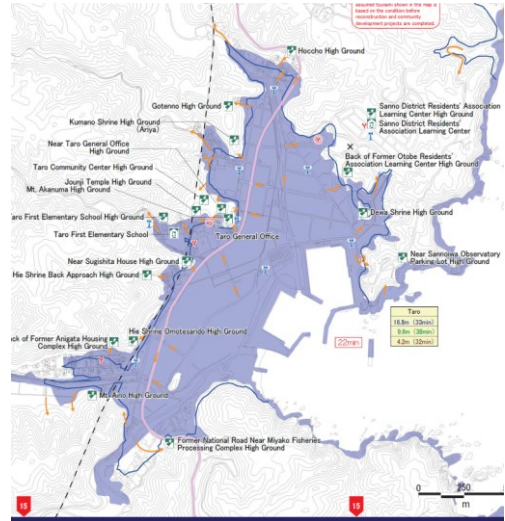
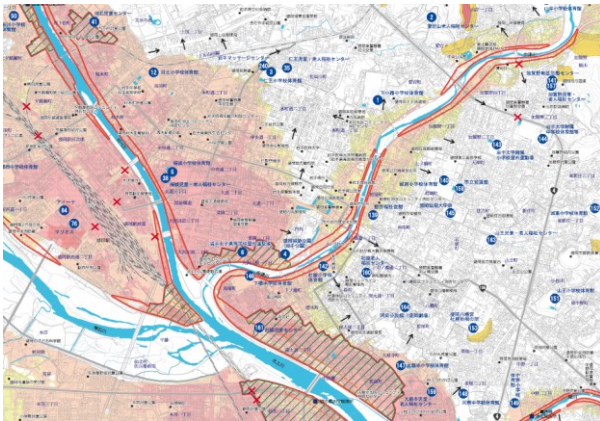
# ハザードマップと避難経路の把握

目的：

ハザードマップを理解し、日本語を話さない人をサポートできるようにする。  
緊急時に外国人を助ける具体的な方法を知る。

## ハザードマップと用語

盛岡市民には災害に備えるための「防災マップ」が配られましたが、自分の住む地域ではどのような情報が得られますか。ハザードマップを比較して、どのような情報が提供されているかを見ましょう。



エクササイズ1：ウィリアムにハザードマップの内容を説明！

エクササイズ2：用語 — 以下は、ハザードマップに登場する言葉です。正しく約せませうか？

避難所	避難場所	高台
浸水区域	床上浸水	床下浸水
堤防が決壊する	体育館	水平避難
垂直避難	がけ崩れ	地すべり
土石流	火山灰	水位
家屋倒壊	地下道	豪雨

## 北海道地震 — ケーススタディ

先ごろ北海道を襲った地震では、訪日外国人受け入れにあたり、防災面での問題が浮上しました。ケニアのニュース番組とSRCの調査から、外国人が置かれた状況と、情報収集の現状を垣間見ることができます。

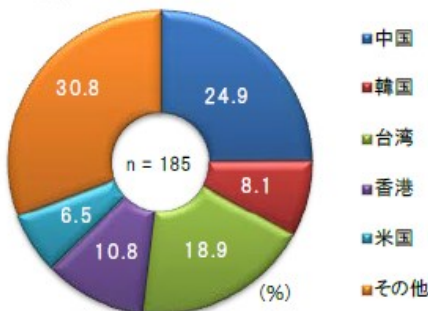


Japan earthquake: Death toll rises to 20

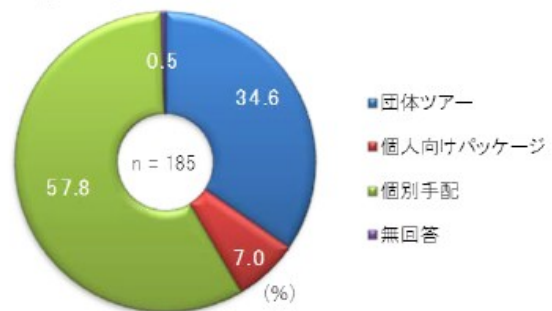
## SRC 自主調査の調査結果について

## 北海道胆振東部地震における訪日外国人旅行者の避難行動に関する調査

&lt;国籍&gt;

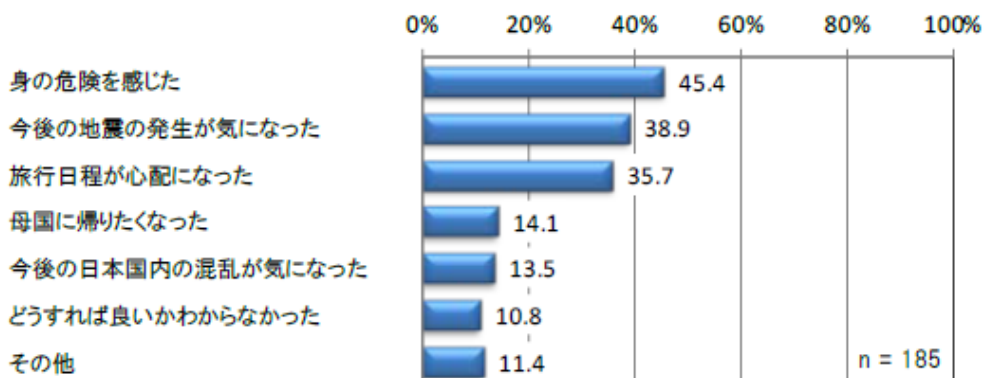


&lt;旅行の手配方法&gt;



## ▼地震発生時にどのように思ったか

「身の危険を感じた」「今後の地震の発生が気になった」が約4割

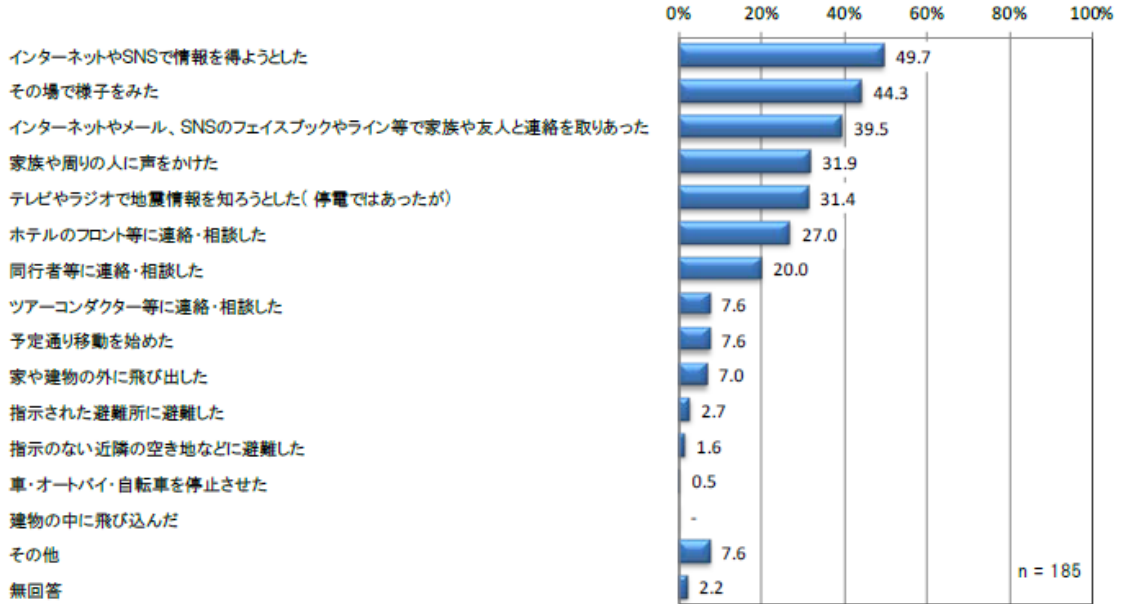


※回答は2つまで

## 北海道地震 — ケーススタディ

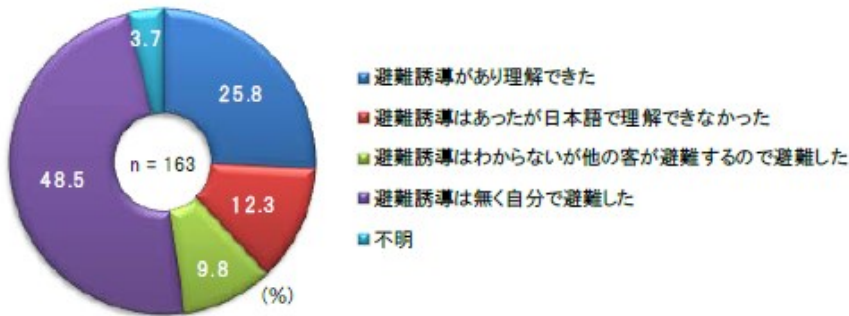
## ▼地震がおさまった後の行動

地震がおさまった後はその場にとどまり「インターネット」「SNS」で情報収集



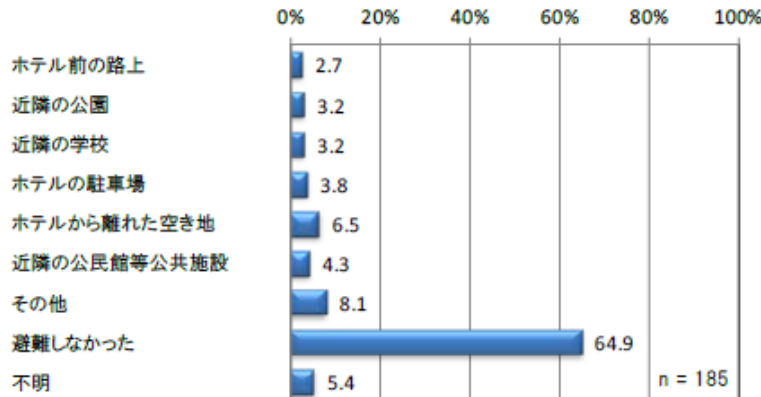
## ▼滞在中の宿泊施設での「避難指示の誘導」の有無と「理解」

地震発生時に滞在していた宿泊施設で、避難誘導があったとの回答は 38.1%



※地震発生時にしていた行動で、「ホテル等宿泊施設にいた」と回答した人のみ

## 【地震発生後に避難した場所】

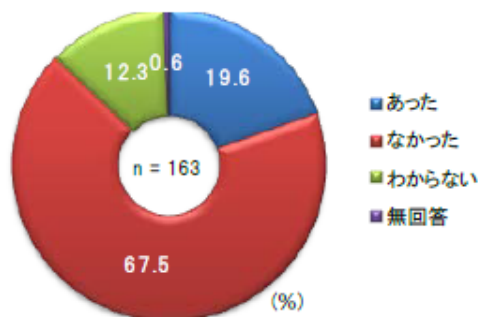


## 北海道地震 — ケーススタディ

## ▼滞在中の宿泊施設の到着時の「避難」についての説明

宿泊施設到着時の避難に関する事前説明は「なかった」が約7割

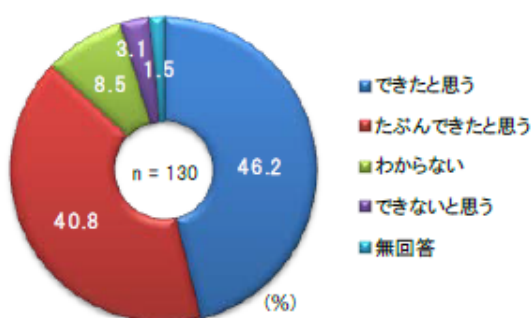
- ・宿泊施設到着時の避難についての事前説明の有無については、「なかった」が67.5%、「あった」が19.6%であった。



※地震発生時にしていた行動で、「ホテル等宿泊施設にいた」と回答した人のみ

## ▼滞在中の宿泊施設で事前に「避難」についての説明があればスムーズに行動できたか「事前説明があればスムーズに避難できた」と思う割合は半数近く

- ・宿泊施設到着時の避難の事前説明が「なかった」「わからない」と答えた人のうち、46.2%が事前の説明があればスムーズに行動「できたと思う」と回答し、「たぶんできたと思う」(40.8%)を合わせると9割近くの旅行者が、事前説明の必要性を感じているようである。



※滞在中の宿泊施設の到着時の「避難」についての説明で「なかった」「わからない」と回答した人のみ

## 道案内

ハザードマップに登場する災害関連用語を学んだので、次は英語でスムーズに道案内ができるようにしましょう。シンプルな地図を使い、目的地まで道を訪ね、案内するエクササイズを交代でします。

### ☆ 役立つ表現

Go straight… (直進する)

Turn left/right at the junction/traffic lights (交差点/信号で左折/右折)

Go past… (通過する)

Go over the junction… (交差点を直進)

Walk/Go along the road until… (…まで道なりに進む)

The… is on your left/right. (…が左手/右手にある)

It's opposite… (…の向かい側)

It's next to… (…の隣)

It's between (…の間)

Cross… (…を渡る)

The… is at the corner of… (…の角にある)

とても基本的なエクササイズですが、シンプルな英語で明確に道案内できることが大事です。次は災害時を想定して、少し難しい道案内に挑戦してみましょう。